

KGA

'93夏季号

1993年8月1日発行

NO. 43

目次

平成5年度 関東倶楽部対抗決勝競技1
平成5年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表4
平成5年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表6
特別寄稿 米国チャリティ事情8
ホール・イン・ワンしたら“チャリティー”を10
平成5年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技14

平成5年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技 成績表14
平成5年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技15
平成5年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表17
総会・理事会・分科委員会18
月例競技成績表、お知らせ20

表紙photo 倶楽部対抗決勝競技・フォレストゴルフクラブ
(撮影・石川博英)


関東ゴルフ連盟


平成5年度 関東倶楽部対抗決勝競技

- 開催日 平成5年6月22日(火)
- 開催コース フォレストゴルフクラブ
- 使用コース Aクラス(東) 6,701ヤード パー72
Bクラス(西) 6,964ヤード パー72

文・宮元昭雄 (KGA広報委員)

写真・石川博英 (KGA広報委員)

選手は苦しみ観客は興奮

—「倶楽部対抗」6人制となる—

今年の倶楽部対抗は“初物”づくめの大会となつた。

まず、開催倶楽部が初めて関東平野から離れ新潟県となつたこと。

そして、6人制となつたこと、である。

改革につきものの、賛否両論、いろいろ耳にしたが、競技委員会として加盟倶楽部へアンケートに調査し、小委員会まで設け、慎重に検討して決めたことである。

まずは以下のレポートをお読みいただきたい。

特設のスコア・ボードの前には、数百人にも及ぶ応援団や関係者が詰めかけ、息詰る接戦に固唾を飲んで見守っている。387ストローク、競技を終えた5人の選手の合計ストロークが全く同数で並んだ。新千葉と嵐山のトップ争いに闘心は集中した。

新千葉はチームのポイント・ゲッターといわれる室野、一方嵐山もベテランの竹村、共に好スコアが期待される二人の争いに優勝の行方は絞られた形だ。前半を折返したところで室野38、竹村39と僅か1差で競い合い、後半の出来いかんではどちらに軍配が上がるかは全く予断を許さない状況だ。両チームの



一人のミスがチーム失格となるため、スコア提出、集計は入念にチェック



大スコアボード前は応援団でいっぱい

応援団が一齊にコースに散る。一打のミスも許されない苛酷な戦いに追い詰められた二人にかける、両軍の不安と期待が血走った表情にうかがえる。

6人制競技の面白さがハッキリと浮彫りにされ、まさにチーム全員の総力戦、8人制ならすでにこの時点で勝負の趨勢はついていたであろうと思われる試合の展開だ。嵐山の吉田理事長も、周囲から前祝いだとちかけられて、居場所がない、と嬉しい悲鳴をあげていたが、内心はまんざらでもない表情で動き回っている。過去14回も決勝進出のキャリアを持つ嵐山ですから興奮の有様だから、いかに倶楽部対抗競技が倶楽部にとって大きなイベントであるかがよくわかる。最後の一人に託すチームの熱気、そこに決勝競技ならではの良さがあるのかも知れない。

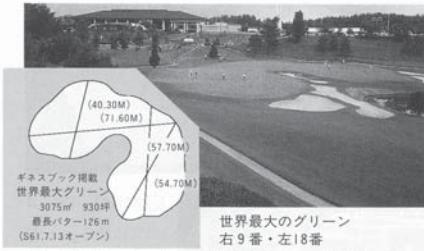
「新千葉」初優勝

一方このところ着実に力をつけてきた新千葉は、6回目の決勝進出で訪れた優勝のチャンスだ。昨年は目前で東名カントリーに足元をすくわれ涙を呑んだ。今年はその雪辱に燃え、6人中3名が日本アマに出場するという強豪メンバーを組んでの参戦だ。

伝令役とおぼしき人が一人また一人と走ってくる。室野がワン・アンダーをキープしているという報告



優勝した新千葉カントリー倶楽部の選手団



だ。竹村もパープレーで我慢のゴルフを続けているという。

世界最大のグリーン(3,075m²)といわれる東コース18番グリーンに、足どりも軽く室野がきた。チームメイトがグリーンの回りを開けて声援をおくる。73のフィニッシュだ。どっと歓声があがる。竹村も17番でバーディーと攻めたが、一歩及ばず勝利の女神は新千葉に微笑んだ。がっくりと肩を落とす敗者、熾烈でありあまりにもプレッシャーのかかった競技ではなかったか、という印象が強い6人制の終幕だった。

新千葉井上周昭監督は『昨年は悔しい思いをした。捲土重来を期し今年は狙っていた。選手にはスコアに負けてもゴルフに負けるなと叱咤激励してきましたし、日頃の実力を出しければなんとかなると信じてきました。重圧をはねのけてよく頑張ってくれました。いまは選手一人一人の労をねぎらってやりたい』と感激も一入だった。

敗れた嵐山の石原キヤブテンは『よくぞ頑張ってくれた。6人制のむづかしさも充分経験できだし、来年のことを言っては鬼が笑うかも知れないが、6年に期待したい。新千葉さんにおめでとうと言いたい』と敗れてもすがすがしくエールを送って盃をあげていたのが印象的だった。

8人制から6人制への初の試みとなった平成5年度決勝大会は、さまざまな問題を提起しながらも盛会裡に終わったが、各俱楽部とも6人制競技の進め方についてこれまでにない戦術や新たな組立てを考えることだろう。

1人のミスも許されない

俱楽部対抗の開催意義、参加意義、それは俱楽部を代表しての名誉をかけた戦いであるが、一方選

手はもとより関係者がより親善の実を挙げることも目的の一つである。しかし8人制とは一種異なった重圧感、悲愴感が6人制にはあったかも知れない。一人のミスも許されない真剣勝負、チーム戦の妙味がより發揮される競技内容と評価する人もいる。共通して言えることは、いつまでもこの俱楽部対抗の灯は消したくないという人々の願望が強いということ。これからも益々大きく規模は発展していくことであろう。

昭和9年に第1回大会が開催されて以来今年で39回目(戦時中一時中断、昭和29年に再開)を迎える。今年初めて関東圏を遠く離れて、越後路は新潟フォレストカントリークラブで41チームがその覇を争った。

アマチュアゴルフの最大の祭典と評価され、その参加チームは年々増加する一方だ。今年も予選参加チームは279チーム、実に1,720名という史上最多の選手たちによって争われた。昨年は県別ブロック代表制をとり、17チームによって決勝大会が行われたが、やはり盛り上がりに欠けたことは否めない。今年決勝に初出場組は6チーム、10回以上が袖ヶ浦の24回を筆頭に、大利根、富士、嵐山、セントラル、宇都宮、岡部などいつもながらの常連組の出場がみられたが、東名、習志野、千葉などの姿が消えたのは寂しい限りだ。

参加チームの増加で円滑な運営が無理でないか、決勝競技は中止せざるを得ないのでないか、俱楽部対抗の開催意義はもはやなくなった、とかさまざまの意見があったことは事実である。KGA競技委員会は試行錯誤の末6人制の実施に踏み切った。

方法の改革には決断が必要であると同時に、いつの世にも賛否両論はつきものである。加えて今回は遠隔地開催ということできさまざまな意見もあったが、1都10県という広範囲なKGA組織下の俱楽部の立地条件を考えれば、時にはこうした開催地を選ぶことも必要かも知れない。

「遠隔地となると費用もかかるが仕方がないことだ、たまにはいいのではないか、これまで遠くの俱楽部の人たちが関東圏に遠征してきたご苦労がよくわかった。」(中村・総武カントリー総支配人)

「年に一回のお祭りだし、アマの大会で1,000人以上もギャラリーが集まる競技なんて俱楽部対抗以

外にない。この灯りは消してはならないし、理想は県別で持ち回りがよいが、コースの事情や施設も考慮しなくてはならないだろう。うちは阪田(関東アマ優勝)が早々につぶれたが将来は日程を考えてもらいたいと思う。関東アマに続いての遠征2日間は選手にとって苦痛である。練習日のスタートの枠不足など一考して貰いたい」(野本・袖ヶ浦キャブテン)

「6人制の競技は真剣さが漂っていてよいが、選手には重圧だろう。一人のミスでチームが失格するというのは酷い。6名のうち5名のスコアをとるとか、いろいろと研究して貰いたい。要は楽しい大会であって欲しい。」(吉田嵐山理事長)

たしかに今大会でスコア記録による失格チームがあった。気の毒でならないが、やはりルールはルールである。スコア提出時はチームメイトが揃ってチェックを手伝うところもある。これは俱楽部対抗ならではの光景であるが、参考にしたらいかがなものか。

いずれにせよ6人制は悲喜こもごもの話題を作りだしてくれたようだ。

心憎いまでの受け入れ体制

常連東名の山田キャブテンは「チームの選手層が厚いので6人に絞るのにひと苦労する。実力が伯仲しているだけに尚更だが、その選ばれた一人の脱落すべてが終わるというのは悲劇だ。」と予選落ちの悲哀の弁。

予選では1差で新千葉に負けた総武カントリー、その差は選手の入れ替えで充分逆転出来る(福山競技委員長)と意気込んでいたが、やはり6人制で沈んでしまった。「俱楽部対抗の在り方については小委員会まで組織してあらゆる条件を想定して検討を重ねてきた。8人制の限界があり6人制としたが、今大会の結果を見てさらに最良の方策を考えて行きたい。開催地の問題も決勝をやるにふさわしいコース

ということが絶対条件だし、各地の負担を公平にするコースを選ぶことも必要だろう。競

技への関心度が高まり俱楽部同士の親善が進む中で、連盟としても積極的な指導に対する理解がえられるようになれば、組織全体の発展につながるので前向きに対応し努力を継続したい」と尾関KGA競技委員長は語ってくれた。

さて毎のことながら、開催コース側の準備も例年なく大変だったと思う。フォレストは日本海側の加盟俱楽部の中でもっとも施設の完備した俱楽部であり、特に今大会のためにハウスの増築はもとより、コースを含めて全面的な改良工事を行ったと聞く。オーナーの斎藤文志郎氏は「関東の精銳チームがこの新潟まで足を伸ばして来てくださる。快適な競技が出来るように全力投球で準備に専念した」というだけあって施設運用は万全だった。

朝食は540食用意(榎本紀三郎食堂チーフ)するために朝4時に全員出勤して、選手や関係者の食事がスムーズにとれるよう配慮したという。

バス17台、タクシー50台を常駐させるなど、細かいところにも意を配っていた心憎いまでの受け入れ体制に参加者の殆どが喜んでいた。

二日間に亘る新潟大会はそれぞれの思い出を残したことであろう。とくに関東圏からみれば団体での移動であり、久しう振りに仲間同士が一緒にになってくつろぐにしては最適なチャンスでもあったと思う。旅行にでも来た気分で選手たちは、思い思いに夜の街に流れ、お互いが明日の健闘を誓うかのようにカラオケを楽しみ美声(?)に酔うも新潟大会ならではの旅情を感じたものだった。

「米・水そして人情の良い新潟へ是非またゴルフに来て下さい」と歓迎の辞をのべてくれたフォレストの竹内政二副理事長はじめ、俱楽部の全従業員が整列して関係者を見送る心温まる光景に、立ち去り難い思いにかられた。



▲表彰式 パーティーは全員着席
◆開催俱楽部フォレストゴルフクラブはこの日のためにクラブハウスを増築

平成5年度 関東倶楽部対抗予選競技成績表

地区別 順位	東京 (東京五日市) 5月24日(月)		埼玉 (嵐山) 5月24日(月)		千葉第1 (鎌ヶ谷) 5月24日(月)		千葉第2 (加茂) 5月24日(月)		神奈川 (小田原・松田) 5月25日(火)		茨城第1 (那珂) 5月25日(火)		茨城第2 (扶桑) 5月25日(火)	
	岡部チサン	新千葉	袖ヶ浦	小田原・松田	セントラル	富士・笠間	水戸	宇都宮	藤岡	豊岡国際	穗高	甲斐駒	新潟	
1 東京五日市	477	岡部チサン	456	新千葉	472	袖ヶ浦	464	小田原・松田	450	セントラル	455	富士・笠間	475	
2 立川国際	478	嵐山	458	総武	473	東千葉	467	湘南シーサイド	454	大利根	456	土浦	482	
3 桜ヶ丘	481	浦和	471	銚子	477	木更津	470	秦野	458	江戸崎	464	扶桑	485	
4 八王子	483	東京	471	東京スプリングス	479	千葉国際	475	大相模	459	水戸グリーン	465	水戸	488	
5 青梅	485	高坂	473	南總	479	習志野	476	伊勢原	461	金砂郷	465	三城バシフィック	489	
6 東京国際	486	武藏	475	成田スプリングス	482	白鳳	480	東名厚木	466	那珂	470	龍ヶ崎	490	
7 東京よみうり	486	鴻巣	475	長太郎	483	千葉	480	相模原	467	アジア下館	471	ザ・レイクス	492	
8 武藏野	491	飯能	476	我孫子	486	鶴舞	482	平塚富士見	467	桜	471	日立	492	
9 GMG八王子	492	東松山	476	フォーシーズン	486	中山	484	小田原湯本	472	筑波	477	取手国際	492	
10 多摩	495	霞が関	477	鎌ヶ谷	487	船橋	484	大厚木	474	新水戸	479	フレンドシップ	492	
11 相武	496	日高	478	千葉新日本	488	横浜	475	ダイヤグリーン	483	大洗	496			
12 府中	498	廣済堂埼玉	480	富里	490	藤ヶ谷	489	戸塚	477	東筑波	485	ニッソー	499	
13 小金井	502	高根	481	本千葉	492	加茂	489	レインボーワーク	478	浅見	487	霞台	499	
14 赤羽	535	狭山	483	柏	496	ザ・鹿野山	498	相模原	479	白帆	495	宍戸国際	506	
15 ノーザン鎌ヶ原	487	千葉スプリングス	497	長南	503	大秦野	480	セバ・バレスロス	495	霞ヶ浦出島	510			
16 寄居	491	千葉廣濟堂	498	小御門	504	葉山国際	492	茨木	495	常陽	514			
17 川越	492	一の宮	501	京葉国際	505	湯河原	492	麻生	497	スプリングフィルズ	535			
18 美里	492	蘆之台	502	かずさ	513	津久井湖	494							
19 入間	494	エンゼル	521	南千葉	517	箱根	496							
20 ユニオンエース	496	八幡	522	上総富士	519	磯子	498							
21 埼玉	497	姉ヶ崎	失格	紫	520	相模湖	500							
22 熊谷	498					芙蓉	513							
23 秩父国際	503													
24														
25														
26														
個人一位A	杉浦勝 (GMG八王子)	中部銀次郎 (東京)	森田万寿雄 (南總)	神崎豊 (木更津)	小林武久 (湘南シーサイド)	菊地幹夫 (那珂)	千田順彦 (富士・笠間)	富田昇吾 (塩原)	市川一夫 (宇都宮)	込山六郎 (太陽)	宮島秀光 (信州塩嶺高原)	田中郁雄 (昇仙峡)	大沼昕雄 (湯田上)	
	75	土橋住男 (浦和)	前川武英 (富里)	75	73	71	72	76	73	72	75	76	80	
B	小林勝美 (立川国際)	小川透 (岡部チサン)	平山裕基 (総武)	長谷川良雄 (鶴舞)	吉田光男 (湘南シーサイド)	日下部吉男 (江戸崎)	志村幹夫 (日立)	駒場宏之 (宇都宮)	林初男 (藤岡)	古屋昇 (伊豆にらやま)	藤村文夫 (穂高)	平川洋男 (昇仙峡)	山宮秀一 (湯田上)	
	内藤正幸 (桜ヶ丘)		加藤和幸 (東京スプリングス)	林安雄 (袖ヶ浦)	別府敏昭 (浅見)	徳永雅洋 (ザ・レイクス)	71	73	72	73	70	73	77	
	73	71	72	73	64	72	76							

栃木第1 (黒磯) 5月25日(火)	栃木第2 (関東国際) 6月1日(火)	群馬 (藤岡) 5月24日(月)	静岡 (太陽) 5月24日(月)	長野 (三井の森夢科) 5月27日(木)	山梨 (清春) 5月24日(月)	新潟 (笛神五頭) 4年9月25日(金)							
矢板	465	宇都宮	461	藤岡	444	豊岡国際	462	穗高	465	甲斐駒	472	新潟	497
塩原	466	芳賀	476	伊香保	460	富士	462	グランステージ丸子	470	昇仙峡	475	湯田上	501
柄木	472	広陵	481	美原	462	大熱海国際	465	信州塩嶺高原	471	清春	486	日本海	504
南摩城	475	那須小川	482	ベルエア	467	富士チサン	467	松本	473	グリンパレイ	487	上越国際・十日町	507
ロイヤル	480	千成	482	赤城国際	468	東名	468	川中島	478	甲府国際	493	新津	509
宇都宮国際	482	あさひヶ丘	483	上毛森林	470	沼津	478	長野	479	富士川	499	笛神五頭	511
鶴	483	鹿沼	484	草津	472	伊豆にらやま	479	信州駒ヶ根	482	中央都留	503	新潟sp・三条	511
都賀	484	鹿沼	486	太田双葉	472	富士宮	480	長野国際	482	柏崎	517		
皆川城	487	鬼怒川	486	桐生	473	藤枝	481	佐久平	484	石打後楽園	517		
杉ノ郷	491	唐沢	488	月夜野	475	静岡・袋井	484	三井の森夢科	485	紫雲	517		
佐野	492	関東国際	491	甘樂	475	静岡・浜岡	486	南長野	485	中条	520		
東宇都宮	493	紫塚	491	ロイヤルオーク	476	富士小山	487	ヴィラ夢科	485	長岡	520		
那須チサン	493	思い川東急	492	沼田スプリングス	477	南箱根	487	諏訪湖	486	妙高サンシャイン	522		
韋月・佐野	495	韋月・鹿沼	494	ルーデンス	477	韻律ジャンボリー	489	望月	486	小千谷	524		
足利	498	下野	497	関越ハイランド	478	静岡・島田	490	サニ一	487	糸魚川	524		
黒磯	504	栃木の木	500	鳳凰	486	富士平原	491	千曲高原	492	下田城	525		
新宇都宮	510	グレンピークマナー	507	妙義スプリングス	489	愛鷹	491	望月東急	502	レイクビュー	529		
日光	511	風月	507	高崎KG	493	伊東	493	斑尾高原	504	湯沢	531		
大平台	512	ユニアイ	515	プリンスランド	493	天城にっかつ	493	あづみ野	515	松ヶ峯	539		
真名子	519	鷹	516	群馬	498	太陽	493			津川	541		
チサン黒羽	534	東都栃木	516	ノーザン群馬	499	浜松シーサイド	495			アイビス	542		
鳥山城	失格			伊香保国際	失格	御殿場	501			新潟sp・出雲崎	544		
						富士御殿場	501			妙高	563		
						三島スプリングス	502						
						幽南	504						
						菊川	516						
平山定光	73												
野々下稔	71												

平成5年度 関東倶楽部対抗決勝競技成績表

6月22日火 於：フォレストゴルフクラブ（東・西）

- Aクラスメダリスト 藤島秀貴
甲斐駒カントリークラブ 70(36・34)
- Bクラスメダリスト 染谷健市
扶桑カントリー倶楽部 72(38・34)

優勝 新千葉カントリー倶楽部 得点460

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	川島謙	77	40	37	
	大山四郎	75	36	39	
	伊賀元	83	40	43	460
B クラス	伊藤和久	74	40	34	
	室野歩	73	38	35	
	白井正衡	78	39	39	1位

(チーム平均ストローク：76.67)

2位 嶺山カントリークラブ 得点462

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	吉谷明	79	39	40	
	竹村聰雄	75	39	36	
	岡田光正	75	37	38	462
B クラス	岡田光史	75	35	40	
	諱山達	79	41	38	
	和田光司	79	41	38	

(チーム平均ストローク：77.00)

3位 秦野カントリークラブ 得点468

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	中島廣行	76	36	40	
	橋樸實孝	80	37	43	
	田中源二	83	40	43	468
B クラス	正木進	78	41	37	
	石井直人	73	37	36	
	中村彰宏	78	39	39	

(チーム平均ストローク：78.00)

4位 東京五日市カントリー倶楽部 得点472

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	水瀬洋福	79	40	39	
	吉田幹夫	79	38	41	
	小林正義	80	37	43	472
B クラス	有留義	81	40	41	
	和田雅英	77	41	36	
	和田博	76	38	38	

(チーム平均ストローク：78.67)

5位 岡部チサンカントリークラブ 得点475

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	六木本清	81	41	40	
	鈴木克昌	80	40	40	
	山添勇喜	84	41	43	475
B クラス	間口正昭	78	39	39	
	速藤修	79	41	38	
	小川透	73	36	37	

(チーム平均ストローク：79.17)

6位 富士チサンカントリークラブ 得点475

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	深沢貞夫	81	42	39	
	萩原克爾	83	42	41	
	小林棋一郎	74	37	37	475
B クラス	中井教尋	78	40	38	
	渡辺昭男	83	41	42	
	渡辺元嗣	76	37	39	

(チーム平均ストローク：79.17)

13位 甲斐駒カントリークラブ 得点479

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	藤島秀貴	70	36	34	
	奥石正泰	86	44	42	
	小林春美	80	38	42	479
B クラス	代田敏男	81	38	43	
	島村定男	81	41	40	
	竹内徳	81	40	41	

(チーム平均ストローク：79.83)

7位 神奈浦カントリー倶楽部 得点475

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	吳山淳一	76	39	37	
	中田委尚	83	42	41	
	鈴木軍治	79	40	39	475
B クラス	中村雅明	77	41	36	
	林安雄	82	41	41	
	阪田哲	78	40	38	

(チーム平均ストローク：79.17)

14位 扶桑カントリー倶楽部 得点480

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	野村剛弘	84	41	43	
	寺田酒一	86	47	39	
	加藤政義	87	46	41	480
B クラス	横柳一之	76	41	35	
	染谷健市	72	38	34	
	日暮俊明	75	39	36	

(チーム平均ストローク：80.00)

15位 芝原カントリー倶楽部 得点480

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	武上四郎	83	39	44	
	清水博志	75	38	37	
	神山弘	79	40	39	475
B クラス	杉山山穂	78	39	39	
	中川利真	75	41	38	
	相田喜久夫	85	42	43	14位
A クラス	平山裕基	81	39	42	
	開口幸雄	76	38	38	
	小林裕基	76	38	38	

(チーム平均ストローク：80.00)

16位 東千葉カントリー倶楽部 得点481

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	大橋和男	85	44	41	
	佐々木太刀男	80	39	41	
	小林武久	73	36	37	476
B クラス	藤田昇	82	43	39	
	吉田光男	73	34	39	
	孔劉錦	83	43	40	

(チーム平均ストローク：80.17)

17位 セントラルゴルフクラブ 得点438

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	松崎秀泰	78	42	36	
	反町清治	81	41	40	
	山寺光雄	76	39	37	476
B クラス	小久保武夫	78	42	36	
	宮本清	78	40	38	
	林初男	78	40	38	

(チーム平均ストローク：80.50)

18位 小田原ゴルフ倶楽部 松田コース得点484

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	海江義男	82	39	43	
	土橋佳男	75	37	38	
	菅原亮児	81	40	41	475
B クラス	鶴田正義	82	38	44	
	市川由起夫	87	44	43	
	松崎良一	76	38	38	
A クラス	木暮卓	78	42	36	
	内山記一	78	39	39	
	林初男	78	42	36	

(チーム平均ストローク：80.67)

19位 信州塩原高原カントリークラブ 得点485

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	今田幸雄	78	38	40	
	安藤勤	81	42	39	
	成田秀基	77	39	38	479
B クラス	栗田正美	80	40	40	
	成田朋正	82	40	42	
	松尾市太郎	81	42	39	

(チーム平均ストローク：79.83)

20位 立川国際カントリー倶楽部 得点485

	氏名	合計	アウト	イン	順位
A クラス	藤島威二	82	40	42	
	井上伯夫	83	41	42	
	森貢茂男	79	40	39	485
B クラス	代田勝美	76	37	39	

●特別寄稿● 米国チャリティ事情

文・写真 (社)日本ゴルフトーナメント振興協会 染谷 正之

米国で車を運転した経験のある方なら、いかに米国では子供達を大切にしているか良くおわかりのことだろう。片道一車線の道路で前にスクールバスが走っていたら、例え反対車線が空いていても追越しはタブー。追い越しをパトカーに見つかりでもすればたちまちサイレンが鳴り違反キップを切られることがある。

米国では社会貢献活動が盛んに行われている。ゴルフも例外ではない。特にゴルフトーナメントは社会貢献——多額のチャリティ活動資源を生むイベントとしてプロトーナメントに限らず、各種プロアマチャリティトーナメントが行われるなど大盛んである。プロゴルフトーナメントについて言えば、昨年度の男子PGA TOURではレギュラーツアーで合計2,222万ドル(約24億4,420万円)、女子LPGAでも673万ドル(約7億4,030万円)がチャリティ基金として各トーナメントを通じて開催地域の諸団体などに寄付された。その中でも特に対象となっているのが冒頭のスクールバスの話ではないが「子供達」である。

開催地域の「小児病院」「ボーイ(ガール)スカウト」や諸施設、また奨学金制度、地元ゴルフ諸団体のジュニア育成基金など、金額の多寡を問わず子供達のため或いは癌研究センターと言った公共的な研究事業への寄付活動を積極的に行っている。

その中でも、毎年テキサス州ダラス開催のPGA TOURのGTEバイロン・ヘルソン・クラシックは、ダラスの有力者100名が会員である地域の恵まれない子供達のための福祉活動を目的として設立された社会的団体「セールスマニッシュップクラブ」がPGA TOURとの共同主催者(各トーナメントの事業母体となる実行委員会組織)で、ダラスの社会貢献活動の殆どをこのトーナメントを通じて行っているそ

で、毎年300万ドル(3億3,000万円)もの寄付基金を生んでいる。また女子トーナメントで最もチャリティ基金が多いマクドナルド選手権では、毎年200万ドル(2億2,000万円)以上をマクドナルドグループが中心のチャリティ団体「ロイヤル・マクドナルド・キッズ(KID'S)・チャリティ」を通じ、地元のデラウェア州、ウィルミントン市などの諸施設や団体に寄与している。



事業スポンサーの表現も、こうしたスポンサーボードの社名掲載に限らず、米国では冠スポンサーの「色」も薄い——チャリティが開催目的であるからだ。

競技運営はすべてボランティア

大会運営スタッフも日本では競技運営を中心に大学のゴルフ部員、同好会など学生アルバイトが多いが、米国では競技関係はもちろん、駐車場や交通整理、ギャラリー受付、プレスルームなど殆どすべてボランティアによって運営されている。

これはトーナメントを通じて「自分達(地域)の子供達のために多くのチャリティ寄付がある」から、諸団体や病院関係者から「運営協力」としてボランティアを名乗り出る人が多く集まり、また地域住民も子供達のために多額のチャリティが行われることから積極的に“時間”を作り無償奉仕を申し出る。トーナメントによって2,000名、3,000名といった人数が応募し、しかも交通費やスタッフユニフォームも自己負担が当たり前である。

主催者が運営経費、賞金など全ての経費を負担するのは日本も米国も同じだが、米国ではトーナメントの開催目的として先ず『チャリティ』であり、総収入から諸経費を除いた剩余金は全額がそれぞれか



▲►ボランティアスタッフがパンフレット、ペアリング(組み合せ)表を売り、ギャラリーゲートのもぎりもやる。



定めた諸団体に寄付される。収入源はギャラリー入场券、そして事業スポンサーとなる各企業からの協賛金である。日本では無料配布が当たり前のパンフレットも地元空港の売店で売られたり、また会場に入るときにペアリングシートともども売られていることが多い。これも収入源でありチャリティ基金の一部となるのである。

日本でギャラリーが多いのは土・日曜日だが、米国では1週間まるまる“トーナメントウィーク”であり、指定練習日の月曜日から有料で多くのギャラリーが入る。今年、PGA TOURのフェニックスオープンでは、何と1週間で38万人ものギャラリー入場があったという。入場料を10ドルとしても380万ドル(約4億1,800万円)のギャラリー収入があった計算となる。賞金も含め諸経費を引いても数十万ドルのチャリティができるのは当然である。

ギャラリーもまた、ボランティア同様に自分達の入场料が(地域)の子供達のためのチャリティ基金として還元されるこ

とを知っており、年に一度のプロゴルフトーナメントと言うイベント観戦を楽しみにして入场料を買ってコースにやってくる。

望まれる“日本型”チャリティの確立

また、こうしたトーナメントを通じたチャリティ活動が、米国では税法上も優遇されていることも見逃せない。即ち、チャリティ(社会貢献)を目的にトーナメントは開催され、主催者である各実行委員組織の多くは日本の国税庁に相当する内国歳入庁「内国法人税法」により非課税法人(チャリティ団体)の認可を得ている。さらに、トーナメントの事業協賛企業(いわゆる“スポンサー”)もまた、その協賛金は慈善寄付金として課税控除が認められている。税制度の問題から主催企業として「開催地域の福祉団体などにより多くの寄付活動をしたくともできない」日本のトーナメントと大いに異なるところである。

(社)日本ゴルフトーナメント振興協会が会員主催者を対象に実施した昨年度トーナメントの開催実態アンケート調査では、36トーナメントで合計「約8,700万円」が各地域の社会福祉団体や自治体などに寄付されるなど、米国同様には論じられない多くの主催者が社会貢献をしている。しかしトーナメントそのものの成り立ち、成長経緯も米国と異なり、日本のトーナメントは企業コミュニケーションのための一つの“メディア”として、或いはイベント事業として開催され、成長してきたとよく言われている。ゴルフ界が社会的に注目を集める中で、関係者が国際的また全国規模、地域規模の様々な社会貢献活動に取り組み始めたのも最近のことである。昨年

度から関東ゴルフ連盟がオープンゴルフ選手権の新たな開催目的として取り組んだ国連難民救援募金活動、PGA主催のフィランソロヒートーナメント、男女プロ選手の様々なチャリティ活動……、日本でも社会貢献活動が目立って動き始めた。とかく欧米各国との比較で論じられることが多いが、国民性や文化、宗教上の違い——「チャリティ」と言う言葉 자체が宗教用語である——など同じレベルで論じることは難しい。関係者全員で「日本型」のゴルフ界、トーナメント界のチャリティ活動の方を考えいく必要があると思われる。

ホール・イン・ワンしたら “チャリティ”を

アメリカには「ホール・イン・ワン認定協会」なる組織がありまして、米国内のゴルフ場でホール・イン・ワンした人は誰れども会員になれるそうです。

そして、年に1回、2月にフロリダのゴルフ場で総会を開き、ファミリー同伴で4日間もプレーし、ここでまたホール・イン・ワンしたら別荘、ヨット等の豪華景品にありつけるとか。いかにもお祭り好きのアメリカ人らしいお話しです。

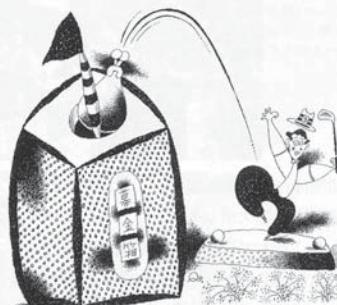
ところで日本では毎年ホール・イン・ワンはどのくらいでるものなのでしょうか。これがなんと16,900回だそうで保険会社が頭を痛めているとか。(ちなみに、保険加入者は1,814,000人・支払額69億円・91年調査)

さて、KGAの主催競技でもけっこうホール・イン・ワンができるものでして、今年も関東女子、関東アマの決勝競技で各々1名の方が達成しました。女子で福澤映子さん(ノーザン錦ヶ原)、男子で松井 澄さん(森林公園)が見事になしとげました。

そして2人とも「ありきたりの記念品を進呈するよりも、その費用を国連難民救済基金に寄付します」とあいさつし、パーティ会場で大拍手をあびました。

また奇しくも、KGA競技委員長の尾関秀夫さんと副委員長の新井安寿さん(二人とも武蔵)もホール・イン・ワンしまして、早速チャリティに寄付していただきました。新井さんは24年ぶり4回目だそうで、あいさつ文に「……ひそかに5回も狙っておりますが、達成するころはこの地球上に難民は一人もいなくなり平和な時代となっていることでしょう。皆様とともにその日の一日も早く到来することを祈念したいと思います」と記してありました。

(イラスト・山県和彦)



平成5年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技

- 開催日 平成5年5月18日(月)、19日(火)
- 開催コース 佐倉カントリー倶楽部
6,281ヤード パー74

文・宮元昭雄(KGA広報委員)

写真・片山晴美(KGA広報委員)

平成5年度関東女子ゴルフ選手権は、有藤智香(日大2年19歳)が二日間通算イーブンパーの148で優勝した。

ジュニア時代から鍛えられた実力を見事に發揮して、2位東尾理子に4差をつけての堂々の栄冠獲得だ。

この2~3年、大会の傾向は常連といわれていたミッドアマチュアのペテラン組が、学生やジュニアに押され気味で、成績上位の大半を学生に占められるという内容がつづいていた。

今年はこうしたなかで、優勝こそ逸したものの森美代(船橋)、中田朱美(袖ヶ浦)、渡辺恵子(高根)、加藤勝栄(相模原)、増田京子(筑波)、原田町子(習志野)といった熟練組が健闘し、大会を大いに盛り上げてくれた。

ゴルフに年齢は関係がないといいうものの、40代・50代の年輩組と伸び盛りの若い学生たちとの間には、大きな体力差があることがこの2~3年の大会を通じて明確に証明された気がする。

めざましいジュニアの躍進

決勝進出140名を年代別に見ると、ジュニア14、学生16、20代10、30代18、40代51、50代29、60代2となっており、40代、50代が圧倒的に多い。しかし、上位20名は学生ジュニアが15名も占め、社会人は5名、高校生

が内6名という数字になっており、今年も学生たちが上位を独占した。

平成4年度優勝の中島真弓は15歳だった。また、その前年3連覇を成し遂げた福島晃子も平成元年に初優勝した時は15歳だった。

「寝てる狐に鶏は獲れない」と、筆者は3年前にジュニアたちのひたむきな努力とその闘争心を賞賛し、ゴルフ界将来のためにも優秀なジュニアの選手が出現することを歓迎したものだ。しかしその反面、社会人ゴルファーとの実力の格差が段々と開きつつある現実を見て、このままではやがて学生によるチャンピオン・シップとなり、社会人が後退していくことになるのではないかと一抹の危惧を抱いたものである。

50代の高齢のものが、わが子の孫にも等しい年代のジュニアや学生との2日間に亘るスクランチ競技ともなると、精神的プレッシャーはともかくとして体力的にもの差が出てくることは、いかんともしがたいことかも知れない。

ましてや、練習量の違いからくる能力差はトップグループになればなるほどその優劣がはっきりしてくる。表現は適切ではないが、競技の展開を見ていて感動の中にも一種の残酷そのものの印象を強くしたことは否めない。

選手権ということで参加資格の巾を広げることは必要であろうが、より公平な資格という線引きはむずかしいとしても、アメリカのように学生と社会人を分けて実施したらどうかという意見に耳を傾けたくなる実情であったことは確かだ。

ゴルフが生涯スポーツとして、また老若男女が公平に楽しむスポーツとして親しまれ発展する中で、若い世代は英才教育を受ける恵まれた環境に育ち、やがてこの大会をステップとして将来はプロゴルファーを志す者も多い。

今年は、昨年同様3カ所の予選会場を設定したが前年度340名の予選参加者に対して今年は280名とその数も大幅に減少した。

なぜ減少したかその理由は不明だが、『子供と一緒にやみじめになるだけ』『昔のような楽しさがなくなった』などという声を巷では耳にする。



この2~3年 優勝は有藤智香さん

今年10回決勝進出で表彰された加藤勝栄さん（相模原）は、「年齢的には10歳ぐらい若いつもりで頑張っているが、若い人にはついていけない。希望をなくさないよう努力はしているが、年々常連組がいなくなるのは寂しい。このままで情熱が薄くなると学生を除くウーメンズ・シップがあってもよいのではないか」と、それでも10年は頑張りたいですね」と、率直に若い学生との差を認めていた。

内田トシ子さん（鬼怒川）も、「決勝は学生と一緒に止むを得ないが、予選は学生を除いて欲しい。予選通過者の40名のうち20名は学生ですから。これではミッドの社会人には楽しみが薄らぎます」と、かなり具体的な希望を口にする。

JGA常務理事で今年度シリキット杯日本チーム監督の尾関久江さんは試合終了後この問題に次のように答えてくれた。「たしかに問題はあると思うが、女性も日頃から体力づくりなど非常に努力しているし年齢より若くなっていると思う。関東女子に限り、あえてミッドのためという設定は必要ないのではないか。たしかに30歳代から50歳代にかけてきびしくなっているとは思いますが…。」と、観方は誰よりも厳しい。

あらゆる年代のニーズに応えたい

たしかに社会人と学生を差別する必要はない。ただ、このままいけば練習量が不足する社会人の決勝進出の枠がどんどん狭められていくことは確かであろう。

関東女子は昭和30年に第一回大会を開いて、来年で40回という輝かしい記録の年を迎える。JGAは、今年満50歳以上を対象に日本女子シニア選手権を開催する。

ウーメンズ・ゴルファーの急増で、KGA加盟各俱楽部もそのレディースの対応に苦慮していると聞く。オープンして20年前後の俱楽部には平均150名以上ウーメンズ・メンバーがいるといわれている。アウトドア・スポーツとしてゴルフの人気は更に高まるであろうし、クラブ・サイドのウーメンズ・ゴルファーの対応も必然的に加重されてくることは必至であろう。

KGAには、予選競技を含めて年間42の競技が設定されている。いうならば、手一杯であることも事実だし、これ以上競技会が増えることは事実上運営面でも大変であろう。しかし、KGA加盟俱楽部の女子会員がこの関東女子アマという唯一のチャンピオン・シップに参加するとい

う意義を考えるならば、出場資格なども含めて総体的に見直す時期に来ているのかも知れない。

KGA競技委員長の尾関秀夫氏が、「世代交代の時に入ったことは事実だ。あらゆる層のニーズを積極的に拾いあげて対応して行きたい」と、将来に含みを残してくれたことに期待したいものだ。

最後にひとこと付言しておこう。今年は、開催俱楽部のご好意で出場者が全員着席で表彰式に望めたということで、途中で退席する者がなかったせいか表彰式もいつも大盛りあがった雰囲気で終始したことは何よりもうれしいと思う。

特に、尾関委員長が関東オーブンの開催の意義として国連難民救済のために、平和な日本のゴルフ界が少しでも貢献できたらと、昨年度よりチャリティ・トーナメントとした旨の挨拶を行ったところ、出席者の全員から「私たちもその一助に役立ちたい」と、募金箱が一人一人の選手に手渡すように回され約8万7千円余の募金があつたという間に集められた。

また、大会初日ホールイン・ワンとイーグルのダブル快挙をやってのけた福澤映子さん（ノーザン錦ヶ原）は、「記念品を配る代わりにチャリティにその資金を寄付したい」と申し出、会場の喝采を浴びていた。

厳しい闘いのあと微笑ましいひとこまを、かい間見ることが出来たことを報告して大会印象記を閉じたい。

▲ホールインワンの特別表彰をうける福澤映子さん（ノーザン錦ヶ原）

▼チャリティ・ボックスがまわされ、8万7千円の募金があった。



明治生まれの心意気

おのこ
明治生まれの男に共通することは
いつも背筋をピンと伸ばしている
口眼は柔軟だが、事によっては一変して
するどい眼差しとなる
ハカラメラを向けると、口を真一文字に結
び、レンズを正面からにらみつける
ニ洋服のスタイルは古いか、生地は極上
物である

そして、強い倫理感の
持ち主であり曲がったこと
が極端にきらいである。

佐倉カントリー倶楽部
の首藤 浩理事長は明治
44年生・82歳、まさしく明治男の典型である。

律儀な首藤さんは、開
催倶楽部の最高責任者と
して、大会2日間はもちろ
ん準備段階から陣頭指
揮をとられた。

まずは「KGAニュース」のバック・ナン
バーをひもとき、これまでの「関東女子」関
連記事に目を通した。そして
「ひきうけたからには、これまでの開催倶楽部
にひけをとるな。よそでできたことが、う
ちでできないはずがない」

と関係者に厳命を下した。

コース課の皆さんには、フェアウェイ、グ
リーンの手入れを指示し仕上がりを自分の目
と足でたしかめた。キャディさんにもピンの
持ち方からボールのふき方まで注意した。

そして、KGA事務局と倶楽部事務局間の
打ち合わせでは、表彰式・パーティーは立食と
してあったが、



首藤理事長（右）と大谷支配人（左）

「それはならぬ。相模カントリー（平成2年）
では着席で実によかったそうではないか。変
更しない」

の鶴の一声、倶楽部関係者は突然のことにつ
て準備に大忙となった。

パーティ終了後、おそるおそるインタヴュ
ーした。

「いちばん気になっていたのは、昨年のKGA
ニュースに若い女性ゴル
ファーのマナーの乱れにつ
いて注意する記事があ
ったことです。もし、同じようなことがあ
ったら、その場で注意する
ことはもちろん、KGA
にも談じこむつもりで
いた。そこで指定練習日か
ら気をつけて見ていたが、
実にきちんとしたもので、
紀憂にすぎませんでした。

私はこの大会をお受けしてよかったです。
KGAに感謝したい。ピック・ゲームを開催
することによって、倶楽部全体がピリッと締
まった。コースもよくなったり、食堂もフロ
ントも初心に戻って事にあたってくれた。

何日間か、メンバーには不自由な思いをさせたが、きっと喜んでくれると確信する。昨
今は、KGAでも開催コースの引き受け手が
なくて、交渉に難渋しているとか。そういう
倶楽部にはぜひともおすすめしたいものです。
大きな競技を受けなさい。倶楽部全体が見違
えるほどになりますよ、と」

時に眼光するどく時に温厚な眼差しで話
してくれた。（KGA広報委員 和田憲一）

平成5年度 関東女子ゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者140名

順位	選手名	所	属	第1ラウンド		第2ラウンド		合計
				アクト	イン	アクト	イン	
優勝	有藤 智香	日本 大	40 36 76 36 36 72 148					
2	東尾 理子	新 千葉	40 37 77 37 38 75 152					
3	森 美代	船 塚	39 38 77 40 36 76 153					
3	金沢 鈴華	甲斐 駒	40 38 78 38 37 75 153					
3	中田 朱美	袖 ケ	37 40 77 37 39 76 153					
5	菊地あづ子	白 舟	41 42 83 37 34 71 154					
6	井上 陽子	千葉 国際	35 39 74 43 37 80 154					
8	中野 陽子	新 千葉	41 38 79 37 39 76 155					
8	中島 真弓	八ヶ岳高原	38 41 79 38 38 76 155					
10	金森三河子	サンクリーン	39 40 79 42 35 77 156					
10	渡辺 高根	高 根	40 41 81 37 38 75 156					
10	柳田 希世	KGA承認者	40 38 78 35 43 78 156					
13	戸部千賀子	鹿 沼	40 38 78 36 43 79 157					
14	小川 愛	宇都宮国際	42 43 85 38 35 73 158					
14	横尾 舞子	あさひヶ丘	38 42 80 39 39 78 158					
14	板垣真由美	日本 大	39 39 78 39 41 80 158					
14	増田 京子	筑 波	43 37 80 38 40 78 158					
14	有藤 実花	日本 大	40 38 78 43 37 80 158					
14	福嶋 浩子	川 中島	40 41 81 40 37 77 158					
21	小野 香子	日本 大	39 40 79 40 39 79 158					
21	原田 町子	習志野	37 39 76 43 40 83 159					
21	松 幸江	鹿 沼	72 41 39 80 40 39 79 159					
23	畔上 高子	千葉スプリング	39 40 79 41 40 81 160					
23	市川 康子	江 戸崎	42 37 79 40 41 81 160					
23	田中 妙子	南 摩城	40 42 82 38 40 78 160					
26	山本 智美	鹿 沼	72 40 41 81 42 38 80 161					
26	鈴木八重実	サ・鹿野山	43 41 84 40 37 77 161					
26	加藤 胜栄	相模原	39 39 78 40 43 83 161					
29	黒沼カホル	鳥 山城	45 39 85 40 37 77 162					
29	大竹 康子	下 野	38 42 80 44 38 82 162					
29	西門 美枝	塚	46 37 83 38 41 79 162					
29	三木恵美子	富 士士	40 42 82 41 39 80 162					
33	田崎 史子	鹿 沼	72 41 40 81 43 39 82 163					
33	菊地恵美子	宇都宮	39 41 80 42 41 83 163					
33	佐藤利永子	入 間	42 39 81 41 41 82 163					
36	尾間 久江	武 蔵	43 42 85 42 37 79 164					
36	猪股美智子	上 細富士	42 43 85 40 39 79 164					
36	金沢 星華	青山学院大	42 41 83 42 39 81 164					
36	小池 水子	宇都宮国際	40 43 83 39 43 81 164					
36	五十嵐江藤	岡 43 41 84 39 41 80 164						
41	西村 光子	相模原	45 39 84 41 40 81 165					
41	湯原 光葉	鳥 山城	40 43 83 42 40 82 165					
41	片野 志保	大 厚木	46 40 86 38 41 79 165					
41	笛岡 保徳子	穂	43 41 84 41 40 81 165					
41	村田トシ子	鎌ヶ谷	44 39 83 40 42 82 165					
41	国井知恵子	笛ヶ谷	44 40 84 41 40 81 165					
41	首藤 富江	千葉スプリング	42 38 80 43 42 85 165					
41	鈴木 淳子	桑	43 39 80 44 41 85 165					
49	塙田 美保	GMG八王子	46 43 89 41 36 77 166					
49	藤崎 淑子	水戸グリーン	41 43 84 43 39 82 166					
49	水野佐代子	東 名厚木	40 48 88 42 36 78 166					
52	押田 幸子	大 日向	44 38 82 45 40 85 167					
52	杉浦知恵美	岡 43 39 81 44 42 86 167						
52	上條 浩子	松 本	42 40 82 42 43 85 167					
52	外川 典子	河 口湖	41 43 84 44 39 83 167					
52	青木 英子	東 筑波	41 41 82 42 43 85 167					
52	福澤 映子	ノーザン	43 39 82 42 43 85 167					
52	島崎 利江	鍛ヶ谷	44 40 84 41 42 83 167					
52	清水 和代	栗 野	41 43 84 42 41 83 167					
60	中山 康子	虎田スプリング	42 44 88 41 41 82 168					
60	鳴田万里子	長 野	40 40 80 44 44 88 168					
60	加藤 利洋	伊豆 大仁	43 42 85 39 44 83 168					
63	大塚 幸子	袖 ケ	41 42 83 43 43 86 169					
63	内田トシ子	鬼 惠川	45 42 87 40 42 82 169					
66	毛綱 純子	扶桑	40 43 83 42 44 86 169					
66	田村千代子	鎌ヶ谷	44 41 85 45 40 85 170					
66	高橋千津子	温泉	42 44 86 43 41 84 170					
66	小坂 顺子	千葉	45 43 88 42 40 82 170					
66	西山 良子	和	41 42 83 44 43 87 170					
66	古川 康子	あさひヶ丘	44 41 85 47 38 85 170					

*特別表彰決定1回出場 中田 朱美(袖ヶ浦) 三木恵美子(富士) 渡辺恵子(高萩)

決勝10回出場 加藤 脊(相模原) 増田 京子(筑波)

*予選メダリストオーバー(袖ヶ浦) 五十嵐洋子(蘇我) 171ストローク 戸田千賀子71ストローク

オ2ブロック(君津) 甘穂 澄子(東千葉) 76ストローク

オ3ブロック(富士宮) 岩田万里子(長野) 80ストローク 福嶋 浩子(川中島) 80ストローク 小野 香子(日本大) 80ストローク

平成5年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技

●開催日 平成5年6月15日(火)、16日(水)、17日(木)、18日(金)

●開催コース 大利根カントリークラブ 西コース

7,065ヤード パー72

阪田哲男
“高速グリーン”
を制す



文・杉山通敬 (KGGA広報委員)

写真・石川博英 (KGGA広報委員)

「ふだんから(関東アマ月例などで)学生をはじめ

若い人とやってますから、自然と飛ぶようになった
のかもしれません」

自らそう言うように阪田哲男の飛距離は若手選手
と遜色なかった。2位の庄山晋吾に2打差をつけて
最終ラウンドをティオフした阪田は、スターティン
グホールでいきなりパー7を取った。グリーン奥
に立つピンをランの利いた第2打で50センチそこそ
こ寄せた。あとは始終安定したプレーで、5パー
ディ、2ボギーの69にまとめ上げて、昨年について
2連勝、1977年の初優勝以来、6勝目を挙げた。

経験が若さに優った

ドライバー・ショットの飛距離もさることながら、
アプローチの冴えは若い選手とは段違いであった。
グリーンが固く速いために、グリーン周りからの寄
せは、「神経戦」になっていたが、阪田はやわらか
く打ったり、ころがしたり、カット気味に打ったり
して、状況に合せた打ち方をしていた。

まずは危なげない優勝であったが、阪田が実力ど
おりのゴルフを発揮した陰にはグリーンコンディシ
ョンの良さがあった。大会期間中のグリーンは2.8ミ
リにダブルカットされ、ステインプメーターによる

計測では初日が3メートル、最終日が3.3メートルの
スピードであった。プロトーネメントでも、3メー
トルが計測されると「速い」と言われるが、それよ
りさらに速かった。開催コース(大利根CC)のグ
リーンキー=バー加藤さんの話によると、5年前にサ
ンドグリーンに改造して以来、通常の営業日でも年
間と通して3ミリに刈込んでいると言う。

10日から15日に1回の割で目砂を1ミリ程度やり、サッチングやブラッシングをして葉を立てるの
だそうである。

「いわば芝の“盆栽”です。葉を細く育てながら、
立てる。いいグリーンの条件は葉を直ぐ立てて
芽をなくすことです」

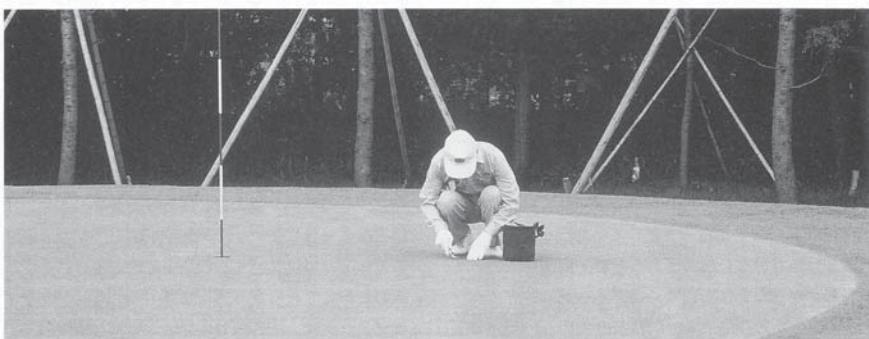
と同氏は言っていたが、常にそのようなエキスパー
トの確かな仕事に裏打ちされてトーナメントは運
営されていく。

一般に短く刈込むとスパイク跡が、“トゲ”状に
逆立つものだが、今大会ではそのような“トゲ”は
ほとんど見当たなかった。芝草が細く、しかも直立
しているためにスパイクの踏圧も芝と平行にして直
に入したからであろう。速くてスムーズな転がりをす
るグリーンは、国際試合の経験も豊富な阪田の実力
を引き出すに十分な仕上りであった。

エチケット向上

今大会で改めて気づいたことは、出場者のエチケットが数年前より一段と良くなっていることだ。ティショットしたあと、ティグラウンドを縦断して行く者が何年か前まではかなり目についたが、今大会では見かけなかった。バンカーもならして出ていた。当然と言えば当然のことだが、これまで以前は大きな足跡を残っているバンカーがしばしばあったことを思うと、格段の良化である。プレーの遅延も注目を促すほどのことはなかったようだ。試合前に「1ストロークを行うに要する時間は45秒以内とする」という注意事項を明記したリリースを各選手に配布しておいたせいもあったろうが、いずれにしても出場選手の多くが関東月例の常連で、日頃からエチケット向上を心掛ける、その成果が表われたものと思う。

もっとも、少しばかり気になることもあった。各グリーンには俱楽部側の配慮でポールマークを補修する係が配置され、インターパルを利用して丹念に補修していた。ポールマークを直すにも熟練を要するものとみえ、雑にやるとせっかくの素晴らしいグリーンも荒れかねない。選手にはプレーに専念してもらいたいという好意の表われでもあったと思われ



全ホールにコース管理課員を配置。ホールアウトするとただちにディポット、スパイク跡をていねいに直す

るが、反面、選手にまかせ切れない危惧もあったものと思われる。

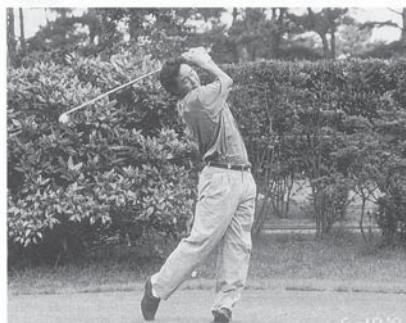


細川理事長より 優勝盾を授与される阪田哲男選手

今年は45回大会であったが、例年どおり10回、15回、20回の決勝出場者が表彰された。10回は7名いた。15回は大山四郎、20回は阪田哲男。阪田は2日目に出した68が、当人が19年前に同コースで行われた関東倶楽部対抗で出した69を更新するレコードだったので、その特別表彰も受けた。

「今日は阪田デーだ」

誰いうとなく、そういう声がパーティ会場で囁き合っていた。20回出場して6勝、勝率3割、立派というほかはない。



かつての名投手東尾修さんが初登場 注目を浴びた

平成5年度 関東アマチュアゴルフ選手権決勝競技成績表

参加者153名 内決勝ラウンド進出者 65名

順位	選手名	所属	第1ラウンド			第2ラウンド			第3ラウンド			第4ラウンド			合計
			アトイン計	アカイン計	アタイン計										
1	阪田 哲男	袖ヶ浦	35	36	71	35	33	68	36	38	74	34	35	69	282
2	宮本 勝昌	大熱海国際	34	36	70	35	37	72	37	39	76	34	36	70	288
3	米倉 和良	日本大	35	38	73	36	35	71	36	40	76	35	34	69	289
4	片山 晋典	つくばね	36	33	69	36	34	70	37	39	76	39	39	78	293
5	横田 真一	専修大	36	36	72	40	35	75	38	37	75	39	34	73	295
6	浅野 康一	日本大	36	36	72	37	36	73	38	38	76	35	39	74	295
7	横尾 要	あさひヶ丘	41	37	78	34	41	75	37	38	75	37	32	69	297
8	金子 光規	レインボー	36	36	72	38	38	76	36	36	72	37	41	78	298
9	河井 博大	新千葉	40	38	78	37	38	75	40	34	74	39	34	73	300
10	今野 康晴	本千葉	35	39	74	38	34	72	37	39	76	37	42	79	301
11	室野 歩	新千葉	42	38	80	34	35	69	38	37	75	38	39	77	301
12	浅川 辰彦	武藏	38	39	77	39	40	79	36	36	72	35	39	74	302
13	小川 透	同郷テサン	40	38	78	39	38	77	37	36	73	39	36	75	303
14	内藤 正幸	桜ヶ丘	38	39	77	39	37	76	34	38	72	38	40	78	303
15	神山 隆志	日本大	40	41	81	38	35	73	36	37	73	37	40	77	304
16	白井 正衛	新千葉	37	37	74	37	40	77	38	39	77	38	38	76	304
17	野上 貴夫	日本大	36	36	72	38	38	76	40	40	80	38	38	76	304
18	太田 再勇	大相模	39	38	77	39	37	76	39	39	78	38	36	74	305
19	久保谷健一	大乗野	35	40	75	42	40	82	36	36	72	40	36	76	305
20	高安 信行	セントラル	39	39	78	40	37	77	37	38	75	36	40	76	306
21	日暮 俊明	扶桑	39	37	76	39	39	78	37	39	76	37	39	76	306
22	石井 幹	千葉スプリングス	40	42	82	34	37	71	37	42	79	37	38	75	307
23	白井 敏夫	純武	38	37	75	36	39	75	41	37	78	40	39	79	307
24	中野 弘治	美善	40	40	80	38	39	77	40	38	78	37	36	73	308
25	照喜名 熟	バ協	38	38	76	39	39	78	36	40	76	41	37	78	308
26	国吉 博一	関東ジュニア	41	41	82	38	35	73	36	37	73	39	41	80	308
27	田口 学	法政大	35	36	71	38	38	76	40	41	81	40	40	80	308
28	加部 朝男	東名	36	36	74	40	37	77	40	41	81	38	38	76	308
29	正木 進	妻野	39	36	75	37	40	77	36	39	75	40	42	82	309
30	石井 保行	東名厚木	37	38	75	37	40	77	39	36	75	40	42	82	309
31	新村ヨシオ	千葉	40	39	79	38	39	77	39	41	80	35	39	74	310
32	朝越光太郎	美野原	38	40	78	40	38	78	41	36	77	37	38	77	310
33	堀越栄次郎	相模原	38	42	80	38	39	77	40	38	78	37	38	75	310

●特別表彰 決勝20回出場 阪田哲男(袖ヶ浦)
決勝15回出場 大山四郎(新千葉) 決勝10回出場 横木 靖(戸塚) 加部朝男(東名) 田辺勝海(NGAオープン) 得能三郎(柄木) 能川茂美(戸塚)
松井 達(森林公園) 和田雅英(東京五日市)

●予選メダリスト 第1ブロック(立川国際) 有留義武(東京五日市) 第2ブロック(浦和) 長尾 卓(日本海) 第3ブロック(伊豆) 仁藤 勇(芦之湖) 第4ブロック(東京五日市) 田村彰宏(妻野) 第5ブロック(コスモクラシック) 国吉博一(関東ジュニア) 第6ブロック(中央国際) 鈴木孝次(白帆) 第7ブロック(東京五日市) 増田 秀仁(東我孫子) 第8ブロック(東京五日市) 山内 康広(東京五日市) 第9ブロック(戸塚) 堀越栄次郎(相模原)

総会・理事会・分科委員会

5年度第2回コース・レート委員会 議事録

日 時 平成5年5月26日(水) 正午
場 所 KGA会議室
出席者 新井委員長、北村・諸戸副委員長、市川、前川、松岡、内藤、中川、大久保、佐久間各委員長、福田顧問

—討議及び決議事項—

1.富士カントリークラブ以下6俱楽部のコース・レートについて、机上配布の資料をもとに次記のように決定した。

(1)富士カントリークラブ(暫定) 7月末まで予定

テンボラリーグリーン	
バック・ティ	69.0
レギュラー・ティ	66.7

(2)関東国際カントリークラブ

南・西	
ペントグリーン	
バック・ティ	72.8
レギュラー・ティ	71.0

南・東

ペントグリーン	
バック・ティ	73.2
レギュラー・ティ	71.2

コーライグリーン	
バック・ティ	72.1
レギュラー・ティ	70.1

東・西

ペントグリーン	
バック・ティ	72.0
レギュラー・ティ	69.9

コーライグリーン	
バック・ティ	71.0
レギュラー・ティ	69.2

(3)大金ゴルフ俱楽部

ペントグリーン	
バック・ティ	72.2
レギュラー・ティ	69.7
フロント・ティ	67.4

(4)喜連川カントリー俱乐部

アウト・イン	
ペントグリーン	
バック・ティ	71.8
レギュラー・ティ	69.1
フロント・ティ	67.1

アウト・喜連川

ペントグリーン

バック・ティ	72.0
レギュラー・ティ	67.5
フロント・ティ	67.5

イン・喜連川

バック・ティ	71.4
レギュラー・ティ	68.9
フロント・ティ	67.1

(5)サザンヤードカントリークラブ

ペントグリーン	
バック・ティ	72.6
レギュラー・ティ	70.7
フロント・ティ	69.2

(6)神鳥谷カントリー俱乐部

メインペントグリーン	
バック・ティ	71.9
レギュラー・ティ	70.2
フロント・ティ	68.7

サブペントグリーン

バック・ティ	70.6
レギュラー・ティ	69.1
フロント・ティ	67.7

5年度第1回月例競技委員会 議事録

ペントグリーン

バック・ティ	72.0
レギュラー・ティ	67.5
フロント・ティ	67.5

ペントグリーン

バック・ティ	71.4
レギュラー・ティ	68.9
フロント・ティ	67.1

(5)サザンヤードカントリークラブ

ペントグリーン	
バック・ティ	72.6
レギュラー・ティ	70.7
フロント・ティ	69.2

(6)神鳥谷カントリー俱乐部

メインペントグリーン	
バック・ティ	71.9
レギュラー・ティ	70.2
フロント・ティ	68.7

サブペントグリーン

バック・ティ	70.6
レギュラー・ティ	69.1
フロント・ティ	67.7

2.宇都宮カントリークラブの質問状について

宇都宮カントリークラブより、ホールの一部改修に伴なう質問状について、委員会にて慎重審議の結果、事務局より同俱楽部支配人と打ち合わせを行い、その後、再査定か机上査定を決めることとした。

3.5月26日現在申請中の緑野カントリークラブ以下8俱楽部について、査定日を以下のように決定した。

緑野カントリークラブ 7月9日(金)

ブレスステージカントリークラブ 7月20日(火)

伊豆にらやまカントリークラブ 7月28日(水)

イーストヒルズゴルフクラブ 9月13日(土)

新発田城カントリー俱乐部 9月14日(火)

グランステージカントリー俱乐部 丸子コース 10月5日(火)

宮の森カントリー俱乐部 10月12日(火)

伊豆下田カントリークラブ 10月19日(火)

4.財日本ゴルフ協会ハンディキャップ委員会報告の件

新井委員長より配布資料に基づき、下記

の報告がなされた。

JGAコースレイティング・システム全国統一査定実施要領については、JGAハンディキャップ委員会にて各地区連盟の実情を踏まえ検討を重ねているが、細部についてまだ協議する必要があり、10月に合同査定委員会を開く予定である。また、同委員会に4名の委員の参加を予定している。』

また、福田顧問より、以下の意見が出された。

『難易度について、難易度査定表の数値と感覚的難易度に差があるようだが、これは熟練することにより、解決できる事と考える。したがって、現在行っている、査定後のミーティングは今後も継続してほしい。』

総会・理事会・分科委員会

無断欠席 0名

出場者数 151名

(男子101名、女子50名)

科 論 者 2名(遅刻)

ミーティング監査 1名

失 格 者 0名

棄 権 者 0名

プレーオフ 女子

絶妙で楽しい真となっている。』

「芝草管理技術者資格認定制度は、古賀副理事長との対談でゴルフ界の快挙とも

言うべき大事業であることがよく理解できた。JGAニュースでも取り上げてしかるべきだ。』

2.KGAニュースNo.43編集企画

事務局提案が了承された。

尚、連載記事として「ゴルフ場花鳥風月」

を企画し、ゴルフ場の環境保全面での有効性をアピールすることとした。筆者等は、事務局に一任された。

4.その他

孤塚参与より、中小企業法人税及び、エネルギー環境変化対応投資促進税制の優遇税制のうち、ゴルフ場は、対象業種から除外されているとの報告があり、JGA規制委員会に問題提起することになった。

平成5年度第1回税対策委員会 議事録

平成5年度第2回グリーン委員会 議事録

1.5年度春季KGAグリーン研究会講習会総括

同日、午前10時より開催された標記講習会の受講者は

小宮山委員長	369名
東日本グリーン研究所関係	31名
加盟外	2名
委 員	9名
計411名	

であった。芝草管理資格認定制度3級テストの選択科目4単位が取得できるとあって、各俱楽部より申し込みが殺到し、3名以内に限定したものの会場の定員をこえる受講者となった。

2.芝草管理技術者資格認定制度について古賀委員長より詳細な報告がなされ、これを確認した。また、7月に行う講習会、8月28日の試験について、当委員会としても協力されることの要請がなされた。

3.各課題調査

(1)利用税還付金

各県より別紙の報告があつた。

月例競技成績表

(平成5年度4月月例) 4月9日(金) 中山カントリークラブ

(男子)		順位	氏名	俱楽部	アウトイン	合計
1	小川 透	岡部チサン	34	35	69	
2	宮 智夫	習志野	36	34	70	
3	中野 弘治	美 菲	37	35	72	
4	内藤 正幸	桜ヶ丘	35	38	73	
5	亀井 隆	唐沢	36	38	74	
5	杉山 稔	総武	36	38	74	
5	市川 賢	東京国際	35	39	74	

コースレート71.7

(女子)		順位	氏名	俱楽部	アウトイン	合計
1	菊地 あつ子	白帆	39	39	78	
1	有藤 智香	日本大学	42	36	78	
3	小川 愛	宇都宮国際	40	39	79	
3	鈴木 淳子	扶桑	39	40	79	

コースレート69.3

(平成5年度6月月例) 6月4日(金) 筑波カントリークラブ

(男子)		順位	氏名	俱楽部	アウトイン	合計
1	小川 透	岡部チサン	36	35	71	
2	佐藤 伊佐緒	磯子	37	35	72	
3	岡田 光史	嵐山	36	37	73	
3	阪田 哲男	袖ヶ浦	35	38	73	
3	和田 博	東京五日市	36	37	73	
3	石井 保行	東名厚木	36	37	73	

コースレート72.0

お知らせ

関東ゴルフ連盟「加盟俱楽部便覧」の変更事項は、次記のとおりです。お手数ですが、訂正加筆をお願いします。

理事長

- 草津カントリークラブ (新) 渡邊 宏 (旧) 古茶 一之 (代行)
- 鶴カントリー倅樂部 (新) 向江 久夫 (旧) 大原 栄
- アジア下館カントリー倅樂部 (新) 吉川 光一 (旧) 桜井 博 (専務理事)
- アジア取手カントリー倅樂部 (新) 吉川 和邦 (旧) 桜井 博 (専務理事)
- 高麗川カントリークラブ (新) 伊地知 重威 (旧) 大木 恒四郎
- 袖ヶ浦カントリー倅樂部 (新) 青木 半治 (旧) 勝又 豊次郎 (4月3日退去)
- 東京国際カントリー倅樂部 (新) 山本 忠義
- 金乃台カントリークラブ (新) 古賀 恵介 (旧) 重國 昭夫

倅樂部代表者

- 鶴カントリー倅樂部 (新) 向江 久夫 (旧) 大原 栄一
- アジア下館カントリー倅樂部 (旧) 桜井 博
- アジア取手カントリー倅樂部

(新) 吉川 和邦 (旧) 吉川 光一
 ●高麗川カントリークラブ (新) 伊地知 重威 (旧) 大木 恒四郎 (旧) 松平 忠晃

●鶴ヶ島カントリークラブ (新) 小西 正彦 (旧) 安藤 勇
 ●紫カントリークラブ (新) 長島 喬
 ●湯河原カントリー倅樂部 (新) 岩宮 浩 (旧) 鈴木太郎

支配人
 ●アジア取手カントリー倅樂部 (新) 斎藤 一郎
 ●甘楽カントリークラブ (新) 今泉 隆史 (旧) 養田 善四郎
 ●鶴ヶ島カントリークラブ (新) 小西 正彦 (旧) 安藤 勇

電話番号 FAX番号
 ●龍ヶ崎カントリー倅樂部 (新) Tel. 0297-62-2611
 (新) Fax 0297-62-2615

H D C P
 ●パークレイカントリークラブ ▲→○
 ●ガーデンゴルフ倅樂部 ▲→●
 ●小田急西富士ゴルフ倅樂部 ▲→○